

「総合型地域スポーツクラブ(以下『総合型クラブ』という)」。この名称を知っている人はそう多くないだろう。日本の地域スポーツと言えば野球少年団のように一つの競技を一定の年代が集まって行ってきた(単種目単世代)。一方で、たくさんさんの競技があり、幅広い年代が参加できるスポーツクラブ(多種目多世代)を「総合型クラブ」と呼んでいる。文部科学省が2000年に打ち出した「スポーツ振興基本計画」には、2010年までに全国の市区町村に少なくとも一つの「総合型クラブ」を作ることが明記されている。

SPORTS MUST CHANGE

谷塚 哲



総合型クラブに期待

「総合型クラブ」に、その問題解決の期待が寄せられているのである。

あるクラブは活動の拠点として中学校を平日の夜10時まで借りて、毎日スポーツ指導を行っている。この取り組みは不審者対策から

現代社会の問題を挙げればキリがない。少子高齢化、医療費の増大、子供の体力の減退、地域コミュニティの崩壊等、急激な経済成長を遂げたことのつけとして問題が山積しており、従来の手法では解決の糸口が見つからない。しかし、今、

始まったといわれている。夕方以降、真っ暗な校舎だからこそ不審者が現れやすいのであり、明かりがとまっているれば不審者も寄り付かなくなる。そのため中学校はクラブに貸し出すことを決めたのだ。

あることで働くことができ、その理由は何であれ、働くママさんからすればクラブはなくてはならない存在なのである。

に「クラブハウスに託児所を作れないか？」と提案したことがある。たとえスポーツに興味のないママさんだって、子どもを預けるために毎日クラブハウスに通うことになる。働くママさんにとってそこにクラブが

そのママさんたちがクラブをつぶさせはしないだろう。クラブとはたくさんの人々にとって必要な存在となれる可能性がある。そこにひとつのコミュニティは無限大に広がるので

ある。当然、これらの活動には行政や企業の支援が必要である。特に場所や資金的な支援は地域住民だけでは解決できない。こうやって地域住民を核として、行政、企業が協力して地域コミュニティを作っていく。これが本当の意味での「街づくり」なのである。「総合型クラブ」を作ることには「街づくり」であるとも言っても過言ではない。「街づくり」||「地域活性化」の方策として今、スポーツが期待されているのである。(REGIESTA有限責任事業組合代表)

|| 隔週土曜日掲載